



岩手県普代村議会

No. 154

令和3年1月28日発行

議会だより

ふだい

まことあなだも好きになる



茹でると鮮やかな緑色になる昆布。収穫は4～6月ですが、乾燥させたすき昆布なら年中楽しめます。

定例会概要	……	2～3分
議案質疑	……	4～5分
一般質問	……	6～9分
行政報告・その他	…	10分
臨時会	……	11分

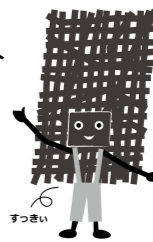
村民の皆さんと議会を結び、情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

12月定例会

ふるさと応援寄付金など

1億1233万円を増額!

このカタログは緑青の国ふだいのカタログです。海の幸以外にも山の幸やかりんとうなどのお菓子も載っています。これらの一部はふるさと納税でも手に入れることが可能です。



ふるさと納税で普代の商品をぜひ食卓へ

一般会計 補正予算

補正予算で
9606万円増

▽令和2年度一般会計補正
予算(第12号)

歳入歳出それぞれ9606
万5千円を増額し、総額
で47億6059万5千円と
しました。

主な歳入歳出は、ふるさと
応援寄付金5000万円、
障害者等自立支援給付費1
683万円、福祉灯油等購

入助成事業皆増110万円、
白井地区漁業研修施設修繕
料皆増100万円などが増
額されています。

増え続ける ふるさと納税

ふるさと納税(応援寄付
金)は、元年度実績711
8万円に対し、令和2年度
末までに2億3000万円
が予測され、大幅の増額補
正となりました。

これは新型コロナウイルス
感染症の巣ごもり需要も
考えられますが、寄付があ
るということは普代の幸の

村政懇望 の早い対応

魅力が認められたことでも
あります。
ふるさと納税促進に従事
した関係者の努力によって、
村政運営の大きな財源であ
るふるさと納税が増え続け
ています。

白井地区漁業研修施設で
は、要望のあった玄関外側
と内側にスロープと手すり
を設置します。当施設はサ
ロンなど高齢者が使用する
には段差が高いことから安
全面を考慮し、設置します。

村議会第12回定例会(12月定例会)が12月10日に開催され、同日開
会しました。内容は、放射性廃棄物等の持込み拒否に関する条例など
4条例の制定と一部改正のほか、令和2年度の一般会計と6特別会計
の補正予算の11議案が審議され、全員賛成で原案可決されました。
また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われました。

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和2年度 普代村一般会計補正予算(第12号) 補正額9606万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を47億6059万5千円とするもの。 歳出では総務費で、ふるさと応援寄付金増に伴う返礼品や(株)青の国ふだい・ポータルサイトへの委託料等、 総額3021万8千円を増額。また、コミュニティ通貨導入の検討業務委託料として30万円を増額。 水産業費では、白井地区漁業研修施設玄関ヘスロープと手すり設置のため修繕料100万円を増額したほか、 黒崎漁港の基盤機能保全工事において補強工事が必要となり107万円を増額した。 一方観光費では、9月定例会の補正で増額としていた灯台周辺のPRやライトアップの事業を見直して 1780万円を減額し、ライトアップの電気設備整備委託を実施予定。 また教育費では、小・中学校の給食費が無料化になったことにより扶助費120万2千円や新型コロナウイルス 感染症拡大防止による事業の中止・活動の自粛などで113万8千円を減額とした。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和2年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 補正額109万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億2041万4千円とするもの。 過年度分国保保険給付費等交付金返還金の確定による増額が主なもの。	
議案第3号	令和2年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第5号) 補正額58万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億3874万7千円とするもの。 医科・歯科診療施設内の空調換気設備改修工事費・設計監理業務委託料の執行残による減額が主なもの。	
議案第4号	令和2年度 普代村簡易水道特別会計補正予算(第4号) 補正額1464万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億3100万7千円とするもの。 秋牛簡水(落合)配水管漏水調査委託料及び修繕料と茂市・白井簡水配水管の更新等の増によるもの。	
議案第5号	令和2年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算(第2号) 補正額85万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億3594万2千円とするもの。 ボイラー室動力盤内機器修繕料の増によるもの。	
議案第6号	令和2年度 普代村漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 補正額13万円を追加し、歳入歳出予算の総額を2422万9千円とするもの。電気料の増が主なもの。	
議案第7号	令和2年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) 補正額13万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3251万7千円とするもの。 保険基盤安定負担金の確定による増。	
議案第8号	普代村議会議員及び普代村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定 公職選挙法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、選挙運動の公費負担に関する必要な事項を定 めるもの。町村選挙では対象外だった選挙運動用自動車・ポスター等の公営拡大やビラ頒布の解禁、15万円 の供託金制度を導入することで立候補環境の改善が期待される。	可決 (全員賛成)
議案第9号	放射性廃棄物等の持込み拒否に関する条例の制定 放射性廃棄物等から村民の生命と財産を守り、豊かで安心な普代村を後世に継承するための条例制定。 ※令和2年3月定例会において採択されていた請願に対し制定するもの	
議案第10号	普代村村税条例の一部を改正する条例 地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことによる一部改正。個人所得課税の見直しに伴う国 民健康保険税の軽減判定所得基準の見直しにより、基礎控除額が引き上げられるもの。施行期日は令和3年 1月1日。	
議案第11号	普代村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 租税特別措置法の一部が改正されたことに伴う延滞金の割合の特例についての所要の改正。 割合に変更はない。施行期日は令和3年1月1日。	当選 (全員賛成)
選挙第1号	普代村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙 令和2年12月29日に任期満了となる普代村選挙管理委員会委員4人及び補充員4人を選出するもの。 選出された方は次のとおり。(敬称略) ○選挙管理委員 中居正(緑区) 熊谷厚子(中央区) 赤坂訓(白井) 大村政義(太田名部) ○同補充員・第1順位 大川内圭一(鳥居) 第2順位 太田千明(中央区) 第3順位 金子太一(黒崎) 第4順位 上向幸生(堀内)(※補充員は、委員に欠員が生じたとき、第1順位から順に補充される) ※任期は、令和2年12月30日~令和6年12月29日までの4年間。	
発議案 第1号	「私学助成の充実を求める意見書」の提出 過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実することを国及び県に要望す るもの。	

12月定例会での質疑

議案第9号

廃棄物受入れ拒否の考え

中上一登 議員



問 交付金のために放射性廃棄物受入れに手を挙げた自治体もある。本条例についての村長の考えを伺う。

答 榎屋村長

この条例にのっとって村民と一緒に取り組んでいくことが村民の幸せと村の持続に必ず資すると考えている。



この自然を守り続けたい

議案第5号

くろさき荘の宿泊客について

嵯峨典行 議員



問 現在の宿泊客数の人数。そのうちビジネス客と一般観光客の人数、GoToトラベルによる県外からの客数を伺う。

答 山崎農林商工課長

11月末で4642名。ビジネスが7割、観光客が3割弱で1374名となっている。10月開始のGoToトラベルは2カ月で366名であった。



GoToトラベルの一時停止によるキャンセルが相次ぐくろさき荘

議案第11号

未納時の延滞金について

大上浩史 議員



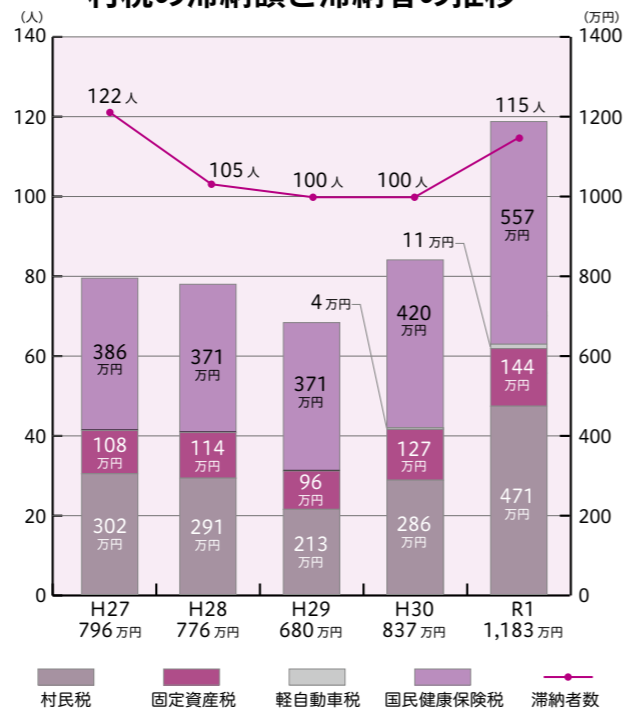
問 延滞金の取り扱いを決めても払えない場合はどうするのか伺う。

答 道下住民福祉課長

今年から税務課と住民福祉課、診療所合同で滞納の対策会議を行っている。まずは本税の収納対策をしたい。

延滞金の具体的な取り扱いは決まっていない。

村税の滞納額と滞納者の推移



12月定例会での質疑

コミュニティ通貨について

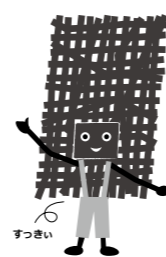
金子泰男 議員



問 コミュニティ通貨検討コンサル業務委託の今後の展開を伺う。

答 森田政策推進室長

業務委託で効果を検証したあと、来年度に若手職員たちと勉強会を行う予定。



コミュニティ通貨とは、一定の地域で使われる通貨のことで、地域コミュニティづくりや経済の活性化のために使われます。

誘客多角化事業について

森田幸一 議員

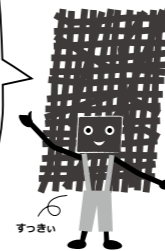


問 誘客多角化魅力的コンテンツ造成事業が国の事業公募に不採択となった。今後も同じような事業を探して応募していくのか伺う。

答 山崎農林商工課長

2度不採択となり3度目は考えていない。3年度予算では、財源にふるさと寄付金を検討している。

誘客多角化魅力的コンテンツ造成事業とは、訪日外国人旅行者6000万人を見据えた観光地整備と国内旅行者がコロナ禍でも安心して旅行できる新たな旅行形式の取組のことで、国が事例を公募し、採択となれば支援が受けられたもの。



議案第1号

ふるさと納税の県内順位

正路正敏 議員



問 ふるさと納税1億8000万円の寄付額は県内でどの程度の順位か伺う。

答 森田政策推進室長

真ん中くらいの予想。元年度は7000万円、18位であった。

ふるさと納税の返礼品について

野場義時 議員



問 秋以降のふるさと納税の返礼品はどういうものがあるのか伺う。

答 森田政策推進室長

人気はイクラ、生イカ、塩ウニ、ワカメとなっている。



ふるさと納税で多くの海の幸が人気です

財源補正内容について

大上智 議員



問 財源補正の内容を伺う。

答 川向総務課長

国・県のコロナ臨時交付金の充当先を組み替え、一般財源からの充当分を調整したもので、予算額の増減はない。

村政を問う



12月定例会の一般質問には3人が登壇し、村の課題など当局の考えを問いました。一般質問とは、議員が執行機関である村長などに対し、事務作業の状況や将来の方針などについて問うことです。村議会では「一問一答方式」で行っており、傍聴者が理解しやすいように簡潔明瞭なやりとりを目指しています。

お大 か上 さとし 智 議員	1. 道の駅「青の国ふだい」について 2. 高齢者を含めた幅広い年齢層に利用される村の公園造成整備の必要性について 3. 新防災マップ作成について	7ページ
なか がみ かず と登 議員	1. 高齢者の窓口負担増の影響について 2. 人口減少50%を見据えた村政について	8ページ
かね こ子 やす お男 議員	1. サケ漁の不漁対策について 2. 普代橋の完成はいつになるのか 3. 中学校の不登校の現状はどうであるのか (※スペースの都合上、2の記載省略)	9ページ

「一般質問」村政を問う

道の駅について

商店街との連携を

榎屋村長

質問

地域のにぎわい創出のため、道の駅を玄関口として商店街への観光客誘導と地域産業への波及を図る必要があると思うが、戦略を伺う。

答弁

榎屋村長 村として商店街イベント支援にも鋭意努めつつ、来年1月の三陸観光プロモーション事業での商店街への観光客誘導も企画している。また、「(株)青の国ふだい」の街中との連携、地域産業への波及効果を出す活動も重要であり、現在、県立大学との共同研究で村民ニーズ等の把握のアンケートや事例調査等を行っているほか、体制強化のための社員採用も順次行う予定である。

公園造成整備について

質問

村民の精神的な健康を図り維持するため、幅広い年齢層に利用される健康遊具等を設置した公園の造成整備が必要

だと思いが、考えを伺う。

答弁

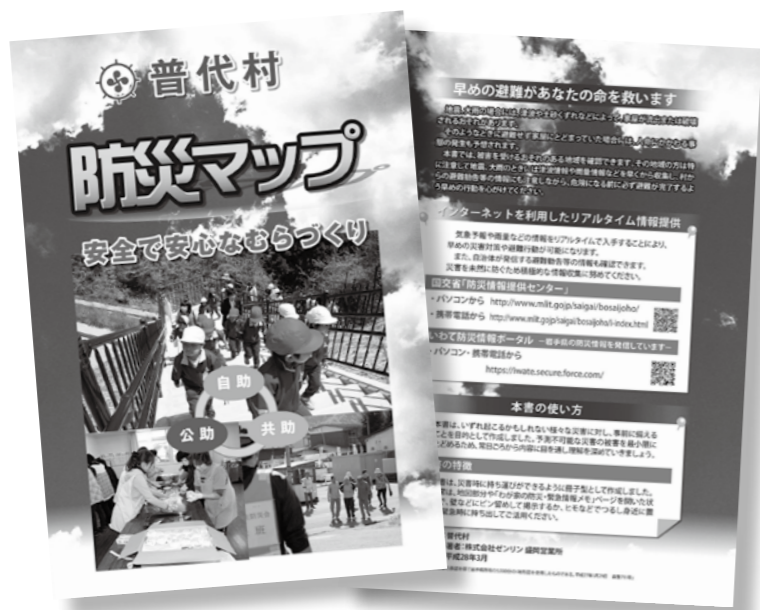
榎屋村長 今後の取り組み予定として上区地区に整備を進めており、上区の災害後方支援拠点広場では通常時に公園機能を備えることとしている。

また、先の村政懇談会での要望もあり、散歩・ジョギング休憩用の東屋を備えたミニ公園的なものを段階的に整備するよう取り組み、既存施設のリニューアルも含め、利活用予測もしながら検討していく。

新防災マップ作成について

質問

いづどこでも災害は起こりうるという教訓を生かすため、新防災マップには実際の被害写真を添えるなど工夫し、災害から命を守るためには「逃げる」など自分自身の安全を守るという自助行動を意識していただけるような内容に作成すべきだと思うが、考えを伺う。



防災マップは定期的に確認し、もしもの時に冷静な行動をとれるよう事前の準備を心掛けたい

榎屋村長 現在の津波と土砂災害対応の内容に加え、令和3年度中に県から公表となる洪水への対応分も新たに掲載し、全災害を一本化した形での作成を考えている。内容は非常持ち出し品の

チェックリストや避難場所等の一覧、危険個所を示すマップなどを盛り込むとともに、専門機関からの指導もいただきながら見やすく活用しやすいよう検討し、令和3年度末までに全戸配布したい。



中上一登

高齢者の窓口負担増について

詳細が決まり次第 対応したい 榎屋村長

質問 国の社会保障検討会議中間報告において、一定所得以上の後期高齢者医療費の窓口負担を1割から2割に引き上げる方向性が決定している。後期高齢者医療広域連合ではこれらの検討にあたり、検診データの集約や利活用のため自治体業務へ求めてくるのではないかと思われ、窓口負担が増えれば高齢者福祉が後退していくように見える。

予防・健康づくりなどはこれまでも実施して村民の健康に取り組んできたと思うが、さらなる医療費の抑制対策と窓口負担増による村民への影響について伺う。

答弁 榎屋村長 医療費の窓口負担が70、74歳は原則2割、75歳以上が1割となっている。国では社会保障制度の持続を考え、一定所得を超える75歳以上を2割負担に切り替えるよう取り組まれており、現状は年金収入毛

デルで年間200万円以上を対象とし、令和4年10月以降から実施する方向で調整されている。村としては詳細な制度が固まってくる段階の情報をしながら、関係機関と連携し対応したい。医療費の抑制対策は、検診結果やレセプト情報の分析に基づき、予防・保健活動に取り組み

たい。利用者の窓口負担増については、受診控えによる治療の遅れ、高齢生活困窮者の増加が懸念され、対策は今後検討したい。

質問 75歳以上の方の負担割合が一部3割になるが、これを現役も含め70歳以上の一定の所得から補填することは可能か伺う。



受診控えとならないためにも、悩みことは抱え込まずに相談しましょう

答弁 榎屋村長 本格的には再来年度あたりから検討に入りたい。

人口減少を見据えた市政

質問 総務省の「自治体戦略2040構想研究会報告書」では、普代村の人口は2015年から試算して2040年には50%減少の1500人あまりと公表され、広域連携を選択する方向で示されている。町村会の対応情報と村長の考えを伺う。

答弁 榎屋村長 全国町村会からは、市町村合併は自主的に行われるべきであり、人口が一定規模に満たない市町村を小規模市町村と位置づけ、権限の剥奪や制限をしてはならない旨の主張がされている。対等であるはずの市町村間で、どこかに合意形成への主導権を与えるかたちが見える中では問題があると言わざるを得ない。



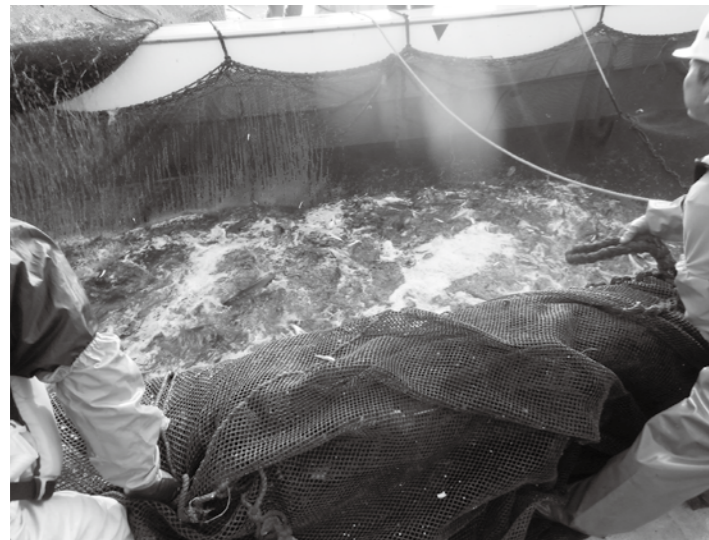
金子泰男

サケ漁の不漁対策について

独自支援はハードルが高い 榎屋村長

質問 基幹産業であるサケ定置網漁の不漁は、漁業者にとって死活問題であり、村にとっても大きな損失である。昨年も漁に恵まれなかったが、その昨年来を大きく下回っており、漁業者の意欲低下を危惧している。

そこで、不漁対策として村独自の救済策を検討すべきと考えます。村長の考えを伺う。



他魚介類の新たな販売ルート模索と新たな養殖事業の展開など打開策を見出した

答弁 榎屋村長 本年のサケ定置網漁の状況は、12月7日現在、一昨年の水揚げ実績に比べ70・2%減となっている。また、サケに限っては90・7%の減と深刻である。この状況はふ化用の種卵の確保にも多大な支障が出ており、11月末現在では、必要なメス尾数の確保ができていない状況である。不漁への村独自の救済策

中学校の不登校の現状

質問 中学校の不登校の実態はどうであるのか。

また、いじめが不登校の大きな理由であるともいわれるが、中学校においていじめや校内暴力、教師による体罰はないか伺う。

答弁 三船教育長 文科省の不登校の定義に照らした過去5年間の中学校の不登校生徒数は、平成28・29年度それぞれ

について、定置漁業は漁協自営があり、共同経営や磯建てなどの形態や規模、所得の配分の仕方にも違いがあり、一方で今年は大きな時化もなく操業自体は通常どおりになされていることなどから、非常にハードルが高いと考える。ただ、状況が状況だけに過去の他産業分野での実績や他市町村の動向も踏まえつつ、漁協との相談を含め検討したい。

不登校の原因は不安定な家庭状況、学業や部活での自信喪失、あるいは学校での人間関係など多岐に渡るが、いじめが不登校の直接の原因となっている不登校生徒はいないし、校内暴力、教師の体罰といった不適切な指導の報告もない。いじめ・不登校については、原因・要因の複雑さゆえ、非常に難しい問題であるが、今後も学校、教育委員会、関係外部機関とも綿密な連携を強めながら、子どもたちが安心して学べる環境づくりに努力していく。

11/6 第11回臨時会

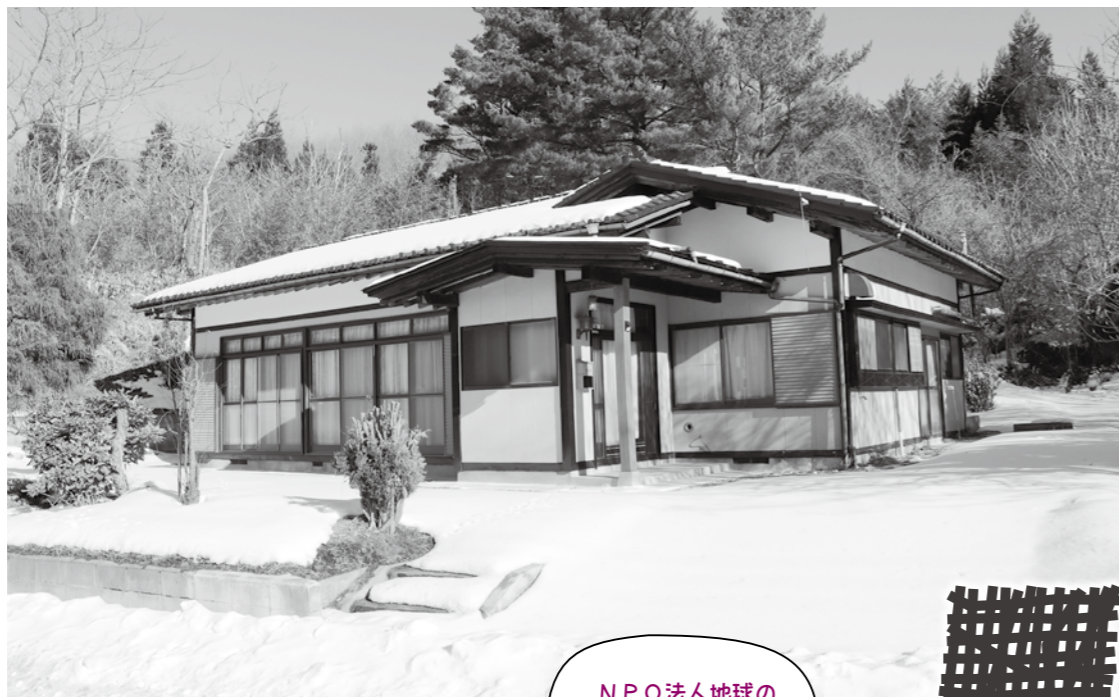
審議した案件は、令和2年度一般会計補正予算と令和元年度一級村道白井萩牛線道路災害復旧工事（1災612号）の請負契約の締結に関する議決、財産取得に関して全員賛成で可決しました。

また、村所有車輛の物損事故に関する報告がありました。

▽令和2年度一般会計補正予算（第11号）

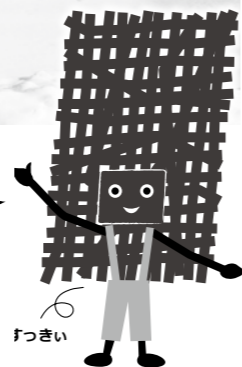
補正額1億1464万7千円を増額し、総額を46億6453万円としました。歳出では、ナラ枯れ対策委託料380万円や地域活性化拠点施設「道の駅」整備工事と備品購入費皆増5300万円などを増額しました。

ほかに、茂市地区の住宅用地と住宅購入費295万2千円が増額されました。これは、NPO法人地球のしごと大學が野外保育を運営する予定のもので、はまゆりこども園とは別に民間での運営がされることで子育て環境の選択肢が広がり、移住者の魅力となることが期待されています。



購入された茂市の住宅

NPO法人地球のしごと大學とは、地方での暮らしや仕事などの地域インフラを開発し、過疎農山漁村を再生する目的で活動している団体です。



つっきい

村民の皆さんにお知らせしたい 柎屋村長の行政報告



工事の状況

令和元年台風第19号災害復旧事業について、旧役場裏の治山施設は完成となりました。普代の沢砂防施設は用地取得が完了し、現在、立木等の物件補償と堰堤本体工事の発注準備が進められております。堰堤完成までのワイヤーネットは年内に設置完了となります。

普代浜の人道橋は、全幅3mの鋼製手すり付きで3月末完成を目指し、来年の観光シーズンには利用できることとなります。

茂市地域活動拠点施設工事は、敷地造成に不測の期間を要し、来年3月下旬の完成となります。

コロナ感染症対策

農林漁業・商工業持続化給付金事業は、11月末で12件が給付済みや手続中で、国への申請は90件が完了しております。

プレミアム付き商品券事業は、11月初旬までに3,536セット販売となりました。12月7日から追加対応の4割プレミアム分2,000セットの販売を開始しておりますので、多くの方に購入いただき、村内商店を支えていただければと思います。

医科診療所での発熱外来の設置については、1日5件を限度に週2回の範囲で行うことが可能か検討しております。

その他

歯科診療所長の藤原秀世先生が年度末に定年退職を迎えることとなりました。これまで34年間にわたり、村民の健康保持、増進に多大なるご尽力をいただいたことに感謝いたします。なお、引き続き、2年間の勤務をしていただくこととなりました。

地域おこし協力隊について、現在2名の受け入れを決定し、3月1日からの着任予定としています。

くろさき荘の経営状況

11月末での宿泊客数が4,642人と前年同期比1,233人（21%）の減少、事業収入は4,891万円と前年度同期比2,122万円（30%）の減と以前厳しい状況となっています。

番屋めし部門では、11月末までの2カ月間に328人の利用がありました。12月から3月までの予約も2,125人となっており、コロナ拡大によるキャンセルがわずかとなることを願っています。

請願・陳情

①緊急経済対策に「消費税5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める
陳情

岩手県商工団体連合会
会長 関沢 浄氏

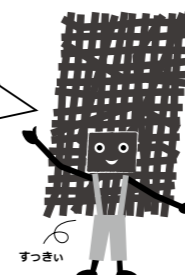
不採択とした。

②私学助成を充実・発展させるための陳情

私学助成をすすめる岩手の会
会長 土屋 直人氏

採択とし、国・県に意見書送付。

村の仲間が新たに増えることはありがたいですね。色々な場面でお世話になるので、皆さんよろしくお願いたします。



つっきい

成人おめでとう😊

V O I C E 未来予想図 Fudai



コンビニがほしい！

おおた れん
太田 滲さん (20)

村の豊かな自然と新鮮な海産物が好きです。好きな場所はやっぱり景色のいい浜ですね。

不便と感じるのは、コンビニがないことです。外出するとよく利用するので、あれば便利です。あとはアパートとフリーWiFiがあれば若い人も住むと思います。

将来は村に残りたいと思っています。これから勉強して資格を取得し、重機オペレーターとして活躍したいです。😊



地域交流が大切！

まつや まみ
松家 眞実さん (20)

まついそ公園が好きです。

普代村は人が温かく、地域の人とのつながりを身近に感じられることがよいところですので、みんなが気軽に集まれる施設や機会をつくり、地域交流をなくさないでほしいです。

また、街灯が少ないところが多いので、歩行者と運転手どちらのためにも増やしてほしいです。あとは、高齢者の方々は元村までの交通手段があまりなく、不便だと感じる人が多いと思います。😊

広報委員からの返信



大上智広報委員

ご成人おめでとうございます。成人のみなさんが心底持っている普代村愛を嬉しく感じます。

ご指摘のコンビニ誘致、アパート造成、フリーWiFiエリア拡大に向け、我々村議会でも議論を重ねていきたいと思っています。

若い方のアイデアや今回のように意見を発信するということはとても重要で、これからの村をつかっていく上で絶対に必要です。要望があれば議員や議会事務局に意見を言うていただくなど、安心・安全で皆が住みやすい普代村をともに創りましょう。これからのご活躍を期待しております。



嵯峨広報委員長

たくさんのご意見ありがとうございます。

街灯に関してですが、以前、産業経済常任委員会では堀内駅付近とはまゆり子ども園通りが暗いという村民からの声を聞いて視察し、村に街灯設置を提案しましたが、まだ改善はされていません。引き続き、提案していきたいと思っています。

高齢者の交通手段については、一般質問にてタクシー券の補助ができないかと提案しました。村の方では前向きに検討するとのことでした。

最後になりましたが、ご成人おめでとうございます。

議 長 中 村 裕	副 議 長 野 場 義 時	委 員 長 嵯 峨 典 行	副 委 員 長 大 上 智	委 員 古 沼 和 也
-----------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------

議
會
広
報
常
任
委
員
會

発
行
責
任
者



議 員 嵯 峨 典 行	副 議 長 野 場 義 時	議 長 中 村 裕	大 上 智	大 上 浩 史	金 子 泰 男	古 沼 和 也	中 上 一 登	森 田 幸 一	正 路 正 敏
----------------------------	---------------------------------	-----------------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

謹んで新春のお喜びを申し上げます。本年が普代村にとって実り多き年となりますようにご祈念いたします。

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

